

令和5年度第2回技術者向け研修会（R60126） 質問と回答

| NO | 質問 | 回答 |
|----|---|---|
| 1 | <p>温度は室温計と表面温度で差があり、人の感じ方に影響をおよぼすかと思いますが、湿度にも同様の現象はありますか？</p> | <p>「空気湿度」と「表面湿度」ということでしょうか？ 表面湿度という概念はなく、空気湿度（空気の相対湿度）だけで快適感は決まります。</p> |
| 2 | <p>会場質疑の「2人就寝の8畳の部屋では、換気を勧める」の話について、換気の方式として、給気は外気を給気口から取り入れることでよろしいでしょうか。</p> | <p>その通りです。第3種換気を想定しています。</p> |
| 3 | <p>防湿層の設置と通気層の設置は両方とも行った方がよいのか？ どちらか（通気層を設けない場合）だけでも、結露対策として十分になるでしょうか？</p> | <p>当日説明した通りです。再度資料を読み返して理解に努めてください。</p> |
| 4 | <p>グラスウール充填外壁の室内側気密フィルムについて以下の仕様で、大きな違いはありますか？ コストとの兼ね合いもあり、望ましい仕様を教えてください。 ①グラスウール（フィルム付）+PB ②グラスウール（フィルム無）+PB ③グラスウール（フィルム無）+防湿気密フィルム+PB ④グラスウール（フィルム付）+防湿気密フィルム+PB</p> | <p>結露対策と気密性向上という意味でお答えします。①と②なら①が良いです。③と④については、グラスウールのフィルムの透湿抵抗にもよりますが、もし一般的な防湿気密フィルムと同等とし、フィルムの施工精度が十分であれば、④まで行う必要はありません。また①と③は同じレベルになります。</p> |
| 5 | <p>結露対策には、24時間換気を回しておく方が有効ですか。</p> | <p>冬の結露対策という意味ではその通りです。</p> |
| 6 | <p>シミュレーションと実測結果は変わることはないのでしょうか？ また、実測用のツールで実用的なものがあれば教えてください。</p> | <p>シミュレーションと実測の条件が同じであれば、近い結果になります。温湿度の実測というのがご質問の意図とすればSwitchPodがお勧めです。</p> |
| 7 | <p>内部結露と気密性の相関関係について、 ・新築の高気密化に対して特に対策すべきこと ・既存住宅の改修時に気を付けるべきこと をお伺いします。</p> | <p>【新築時の高気密化】当日お話しした通り、冬の内部結露対策としての防湿気密フィルムを設けることは気密性向上と両立します。防湿気密フィルムを設けない場合でも、とにかく結露対策と気密性の向上をどちらも考えるようにしてください。 【改修時】耐震性能を向上させるために構造用合板を柱の外側に貼ることが多いと思いますが、そのときに室内側に防湿気密フィルムを設けることを忘れないでください。</p> |